

# 溶連菌感染症



溶血性連鎖球菌という細菌がのどに感染して、のどの痛み、熱、体や手足の発疹(かゆい)などが出ます。舌はイチゴのように赤くなります。うつる病気です。

## 治療

のどの検査で溶連菌がいることがはっきりしたら、抗生剤を10～14日間飲みます。1～2日で熱が下がり、のどの痛みも消えます。でも、途中で薬をやめてしまうと再発します。くすりをきちんと飲まないと、2～3週間後に腎炎やリウマチ熱を起こすことがありますから、指示どおりに最後まで飲むことが大切です。

## 家庭で気をつけること

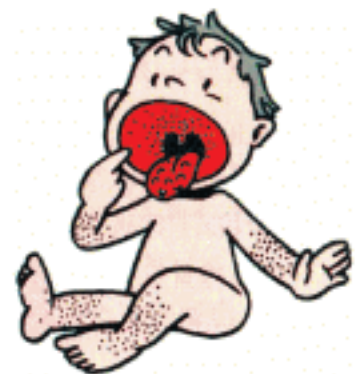
- ① 家族にもうつる：兄弟や両親に同じような症状があれば、受診して、のどの検査を受けてください。
- ② 食べ物：のどの痛いときは、熱いものやからいもの、すっぱいものは避けましょう。
- ③ 入浴：高熱がなく、元気であればかまいません。

## こんなときはもう一度診察を

- ① 2日以上たっても熱が下がらないとき。
- ② のどの痛みが強くて水分をあまり飲まないとき。

## 保育所・学校

症状がなくなったら、登園・登校してかまいません。



**検尿** 2～3週間後に尿検査を受けましょう。



**ハビネス こども クリニック**

お問い合わせは…

**087-848-9178**

